

# ふくしの杜ほんじょうプラン21

(第2期本庄市地域福祉計画・第2期本庄市地域福祉活動計画)

進捗管理シート(令和元年度取組状況)



## 「ふくしの杜ほんじょうプラン21」の進捗管理について

本市における福祉行政計画の上位計画として、平成31年4月に「ふくしの杜ほんじょうプラン21（第2期本庄市地域福祉計画・第2期本庄市地域福祉活動計画）」（計画期間：平成31年度～令和5年度までの5年間）を策定しました。

本計画は、本庄の地で、市民が、「ふくし＝ふだんのくらしのしあわせ」を実感できるよう、市全体が将来にわたり持続可能に発展していく姿を目指しています。

計画に基づく地域福祉の取組を効率的かつ継続的に推進していくために、以下のとおり、進捗管理方法を定め、事業の実施状況等について点検評価や、課題等の整理を行っていきます。

### ◇進捗管理の目的◇

進捗管理を毎年度行うことにより、計画の取組を着実に進めるとともに、課題等の解決等に関して、庁内横断的な協力体制を築きます。また、市と本庄市社会福祉協議会との共通意識を図り、地域福祉推進の理念・方向性を一体にしていきます。

### ◇進捗管理シートについて◇

以下の項目に関して、事業の各実行課において、進捗管理シートにより報告を行います。

- ①計画に基づく年度内の取組状況（具体的な取組内容、事業展開に対する成果）
- ②取組内容の評価（取組スケジュール・指標目標に対する進捗状況）
- ③課題や今後の方針

### ◇評価方法について◇

進捗状況の評価については、年度内の取組に関して、下記の4段階に基づき、まずは事業の実行課が自己評価を行います。その後、本庄市地域福祉検討会議が各事業の取組内容及び成果等を検証し、評価の査定を行います。

A 達成	計画通り進め、年度目標を達成した。
B 未達成	計画に沿って進めているが、年度目標を達成できなかった。
C 検討中	計画に沿って進める中で、課題が多く、進捗が遅れている。
D 中止	計画を進めていく中で、実行が困難と判明したため、取組を中止した。

## 基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

頁	取 組	主な実行課
1	1. 庁内相談・政策管理機能部署の設置	地域福祉課
2	2. 機能集約センターの設置	地域福祉課
3	3. 新たな機能の設置に係るプロジェクトチーム等の設置	地域福祉課
4	4. 連携のための相談支援マニュアルの作成	地域福祉課
5	5. 相談支援に係る共通的なアセスメントシート・相談記録等様式の作成	地域福祉課
6	6. 相談支援専門職の確保	地域福祉課
7	7. 市職員・専門多職種の資質向上方策の検討	地域福祉課
8	1. 市役所窓口開設時間等の拡充の検討	地域福祉課
9	2. 相談事業における電子相談窓口の活用	地域福祉課
10	3. 電話相談窓口の充実	地域福祉課、介護保険課、健康推進課
11	4. 市ホームページでの情報提供の充実	地域福祉課
12	5. 市民への情報提供手段の再検討（取組事例①）	地域福祉課
13	5. 市民への情報提供手段の再検討（取組事例②）	介護保険課
14	1. 生活困窮者自立支援事業の充実	生活自立支援課
15	2. 学習支援体制の強化（取組事例①）	生活自立支援課
16	2. 学習支援体制の強化（取組事例②）	学校教育課
17	3. 相談支援専門職の確保（再掲）	地域福祉課
18	4. 市職員・専門多職種の資質向上方策の検討（再掲）	地域福祉課
19	5. 自殺対策の推進	健康推進課
20	1. 成年後見制度利用促進のための拠点の設置と支援	地域福祉課
21	2. 権利擁護相談の充実	地域福祉課
22	3. 市民後見人等権利擁護人材の養成と支援	地域福祉課
23	4. 権利擁護事業に関する周知啓発（取組事例①）	地域福祉課
24	4. 権利擁護事業に関する周知啓発（取組事例②）	介護保険課
25	4. 権利擁護事業に関する周知啓発（取組事例③）	市民活動推進課
26	1. 更生保護団体への支援	地域福祉課
27	2. 更生保護サポートセンターの運営支援	地域福祉課
28	3. 社会を明るくする運動への支援	地域福祉課
29	4. 刑余者への就労支援の充実	地域福祉課
30	1. 避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）の策定と周知啓発	地域福祉課
31	2. 関係機関・団体との情報共有体制の強化	地域福祉課
32	3. 防災活動への避難行動要支援者の参加の促進	危機管理課
33	4. 災害時の相談支援体制の確立	危機管理課 市民活動推進課

34	5. ハザードマップ等の活用支援	危機管理課
35	1. 公共施設のバリアフリー化	地域福祉課
36	2. 居住環境の整備	地域福祉課
37	3. 福祉施策の継続及び啓発事業（取組事例①）	企画課
38	3. 福祉施策の継続及び啓発事業（取組事例②）	危機管理課
39	1. 各種福祉施策の継続	障害福祉課
40	2. 公共交通の充実強化	企画課
41	3. 移動支援に協力的なボランティアの活用	介護保険課
42	4. 移動困難者（買い物弱者や医療・介護関連）に対するアウトリーチの 施策検討	介護保険課
43	1. 住宅セーフティネット法による「居住支援協議会」の設置	地域福祉課
44	2. 高齢者・障害のある人等の住居の確保（取組事例①）	地域福祉課
45	2. 高齢者・障害のある人等の住居の確保（取組事例②）	介護保険課
46	3. 市営住宅の整備	営繕住宅課

## 基本戦略2 人と人とのつながりづくり

頁	取 組	主な実行課
47	1. 社会福祉協議会の運営と活動への支援	地域福祉課
48	2. 小地域における住民主体の福祉活動の組織化の支援	地域福祉課
49	3. 地域福祉懇談会等の定期的実施	地域福祉課
50	4. 地域福祉講演会等の実施	地域福祉課
51	5. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討（取組事例①）	地域福祉課
52	5. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討（取組事例②）	介護保険課
53	1. 地域福祉ネットワーク会議（仮）の設置	地域福祉課
54	2. 新たな機能の設置に係るプロジェクトチーム等での検討	地域福祉課
55	3. 個人情報の取扱いに関する指針の作成	地域福祉課
56	4. 連携のための相談支援マニュアルの作成（再掲）	地域福祉課
57	5. 多職種連携事例集の作成検討	地域福祉課

### 基本戦略3 地域で共に生きるための人づくり

頁	取 組	主な実行課
58	1. モデルプログラム集等の作成	地域福祉課 学校教育課
59	2. 地域福祉懇談会等の定期的実施（再掲）	地域福祉課
60	3. 地域福祉講演会等の実施（再掲）	地域福祉課
61	4. 福祉関係講座の充実（取組事例①）	介護保険課
62	4. 福祉関係講座の充実（取組事例②）	生涯学習課
63	5. 生涯学習機会の拡大の検討	地域福祉課
64	1. 生涯学習講座受講者等の受け皿の確保	生涯学習課
65	2. 人材バンクの周知啓発	生涯学習課
66	3. 地域福祉懇談会等の定期的実施（再掲）	地域福祉課
67	4. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討（取組事例①）（再掲）	地域福祉課
68	4. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討（取組事例②）（再掲）	介護保険課
69	1. 民生委員・児童委員協議会への支援	地域福祉課
70	2. 多職種連携のための研修会等の実施	介護保険課
71	3. 行政情報の活用支援	地域福祉課
72	4. 個人情報の取扱いに関するルールの作成（再掲）	地域福祉課

### 基本戦略4 計画推進体制の発展・強化

頁	取 組	主な実行課
73	1. 本庄市地域福祉審議会（仮称）の設置	地域福祉課
74	2. 計画進行管理組織による点検評価の実施	地域福祉課
75	3. 計画の周知啓発	地域福祉課
76	4. 地域福祉講演会等の実施（再掲）	地域福祉課
77	5. 地域福祉懇談会等の定期的実施（再掲）	地域福祉課
78	6. 新たな課題への実態調査の実施	地域福祉課
79	1. 地域福祉基金の周知と寄附文化の醸成	地域福祉課
80	2. 市の事業における補助金等の活用	地域福祉課
81	3. 関係機関・団体の財源確保への支援	地域福祉課
82	4. 官民連携の強化	介護保険課

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 庁内相談・政策管理機能部署の設置				
	概要				
	①庁内相談支援・調整機能の設置 市役所庁内において、市民の困りごと等を「とりあえず」「まるごと」受け止める機能を持つとともに、複合ニーズを持つ困難事例への対応を一元的に担います。 ②福祉全般に係る政策管理機能の設置 本市の福祉行政を共通の施策方針をもって効率的かつ効果的に運営するため、個別分野施策の連携にあたっての総合調整機能を担うほか、各分野に共通的な福祉関係施策について企画立案等を行う機能を想定します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)		調査研究 設置準備		設置	機能検証
指標目標 ※年度初めに設定	ワーキンググループでの調査研究	ワーキンググループでの調査研究			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
庁内関係各課で構成する本庄市地域福祉検討会議を立ち上げ、総合支援体制の構築に向けて関係各課長で構成する庁内ワーキンググループを設置しました。また、埼玉県による「市町村総合相談支援体制構築のためのアドバイザー派遣」の支援を受け、関係部署を集めて勉強会を開催し、総合相談支援の体制整備に向けた国の動向等について意識の高揚を図りました。		庁内ワーキンググループを年度中に3回開催し、総合相談支援体制に向けた組織の在り方や連携体制の重要性について協議することができました。
自己評価	今後の方針	
A	ワーキンググループにおいて、総合相談支援体制の構築に向けて、現状課題の整理や組織連携の強化について協議を行い、今後の組織の具体的な方向性について方針を決定していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 機能集約センターの設置				
	概要				
	①身近な圏域（日常生活圏域）において保健医療・福祉に関する市民の困りごと等を「とりあえず」「まるごと」専門職が受け止め、在宅生活支援を行う機能を構築します。 ②社協にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、アウトリーチによる困りごとへの対応のほか、個別支援を通じた地域支援を行うことで、ボランティアセンター等との連携や地域のネットワークづくりにより、制度外サービスを必要とする人への支援の基盤を構築していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究		調査研究 設置準備	設置準備 モデル設置	機能検証
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	ワーキンググループでの調査研究			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
庁内関係各課で構成する本庄市地域福祉検討会議を立ち上げ、機能集約センターに関して、関係各課の担当者で構成する庁内ワーキンググループを設置する規程を整備しました。		地域に必要な身近な相談機関について、今後具体的に協議するための基盤を整えることができました。
自己評価	今後の方針	
B	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、ワーキンググループにおいて機能集約センターの構築に向けた協議を行います。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 新たな機能の設置に係るプロジェクトチーム等の設置				
	概要				
	庁内相談・政策管理機能部署及び機能集約センターの2つの新たな機能の設置にあたり、設置方法・人員配置・分掌事務等の在り方や実施に係る技術的課題について具体的な検討を進めるためのプロジェクトチーム及び組織内調整を行うための準備室を設置します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	PTの設置	新たな機能の設置準備室の設置	—	—	—
指標目標 ※年度初めに設定	ワーキンググループの設置	ワーキンググループでの調査研究	—	—	—

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>庁内関係各課で構成する本庄市地域福祉検討会議を立ち上げ、庁内の総合相談支援体制及び機能集約センターの機能の設置に向けたワーキンググループを設置する規程を整備しました。</p>		<p>庁内の総合相談支援体制及び機能集約センターの設置検討を具体的に協議できる場を整えることができました。</p>
自己評価	今後の方針	
A	<p>ワーキンググループにおいて新たな機能の設置方法や人員配置等について検討をしていきます。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 連携のための相談支援マニュアルの作成				
	概要				
	個人の資質ではなく、仕組みとして効率的に連携していくためには、連携手法を標準化する必要があることから、相談支援及び連携に関する統一的な基準としての「相談支援・連携マニュアル(仮)」を作成します				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	マニュアル・様式等の作成		—	—
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施 マニュアル等の 作成		—	—

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでした。現在各分野ごとに対応している福祉の相談に関して、複雑で複合的な事例の対応マニュアル等を整備していきます。		
自己評価	今後の方針	
C	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、将来的な組織の体制に沿ったマニュアルの整備を進めていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 相談支援に係る共通的なアセスメントシート・相談記録等様式の作成				
	概要				
	支援対象者に対して、迅速に横断的対応を行うため、現在、本市のそれぞれの分野で利用されている独自の相談支援に係るアセスメントシート等の様式を集約し、各分野で共通して利用可能なアセスメントシート等を作成します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	マニュアル・様式等の作成		—	—
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施 マニュアル等の 作成		—	—

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでした。が、現在各分野ごとに対応している福祉の相談に関して、アセスメントシート等の相談ツールを整備していきたいと考えています。		
自己評価	今後の方針	
C	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、将来的な組織の体制に沿ったアセスメントシート等の整備を進めていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課、生活自立支援課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	6. 相談支援専門職の確保				
	概要				
	新たな機能の設置にあたっては、相談支援に関わる高度な専門性が市職員に必要となることから、相談支援の専門性を持つ社会福祉士等の確保を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	相談支援専門職採用の検討	—	—	—
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	採用の検討	—	—	—

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
生活困窮者自立支援事業における総合相談において、社会福祉協議会へ相談業務を委託し、専属の相談員(2名)が配置されたことにより、福祉相談の専門性の向上や、長期継続的な支援が見込めるようになりました。		社会福祉協議会との連携を強化するとともに、相談業務に特化した職員を配置したことにより、複雑な問題について迅速な対応が可能となりました。
自己評価	今後の方針	
A	相談業務を更に充実されるために、庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、社会福祉士等の確保について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策①	包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	7. 市職員・専門多職種の資質向上方策の検討				
	概要				
	包括的な相談支援体制を効果的に展開するために、実務を担っていく市職員の資質や相談援助技術の向上はもちろんの事、相談支援専門職等の支援に携わる人々が、共通認識を持って業務を遂行できるような研修プログラムの構築を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	研修プログラム等の実施			
指標目標 ※年度初めに設定	研修プログラムの開発	研修プログラムの開発 研修の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度についてはプログラムの開発まで進めることができませんでしたが、埼玉県主催による「令和元年度地域福祉実践能力養成研修会」に参加して実習を受けた、草加市のSOSゲームを参考にし、福祉の相談に関する社会資源や相談に関する知識を市の職員が学ぶ機会を作りたいと考えています。		
自己評価	今後の方針	
C	令和2年度中に研修プログラム（本庄版SOSゲーム（仮））を開発し、総合相談支援体制に関係する部署の職員を集めて研修会を開催します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策②	福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 市役所窓口開設時間等の拡充の検討				
	概要				
	平日就労している市民等、通常の開庁時間で福祉行政手続きができない市民等を対象に、平日8:30~17:15以外の福祉窓口の開設を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究		窓口開設時間等の拡充検討		
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでしたが、今後の庁内総合相談支援体制や、機能集約センターの方針と併せて平日8:30~17:15以外の福祉窓口についても検討していきます。		
自己評価	今後の方針	
C	関係各課に調査を実施し、福祉窓口の拡充の必要性や運営方法について協議します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策②	福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 相談事業における電子相談窓口の活用				
	概要				
	容易に市役所窓口に来ることができない市民を対象とする、電子メールを利用した相談窓口の開設やホームページ上での相談専用ページ等、直接窓口を訪れる必要のない仕組みを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究		電子相談の仕組みの検討		
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでした。今後の庁内総合相談支援体制や、機能集約センターの方針と併せて、電子相談窓口についても検討していきます。		
自己評価	今後の方針	
C	関係各課に調査を実施し、電子相談窓口の必要性や運営方法について協議します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課、介護保険課、健康推進課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策②	福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 電話相談窓口の充実				
	概要				
	市で行っている電話相談窓口の対象範囲の拡大を検討するとともに、電話相談から直接的な支援につなげるための仕組みを検討していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	電話相談窓口の周知啓発				
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
電話相談については、市の各部署で行っているほか、市内4箇所の高齢者地域包括支援センターにおいて高齢者の総合相談を実施し、後見ほっとラインや健康相談ダイヤルを設置して各種相談に対応できるようにしています。年度内に実施した介護事業や講演会等において各相談ダイヤルの周知を行いました。	初回相談の多くは電話による相談であり、その後の支援へと繋がる手段となっています。急な体調不良時に対する健康相談ダイヤルの周知は高齢者が安心して在宅生活を送ることに繋がると地域包括支援センターより評価を得ています。
自己評価	今後の方針
A	今後の庁内総合相談支援体制や、機能集約センターの方針と併せて、関係各課に調査を実施し、電話相談窓口の充実や周知啓発について検討していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策②	福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 市ホームページでの情報提供の充実				
	概要				
	特に若い世代が多く利用する傾向にある、市ホームページでの情報提供を充実させることで、利便性の高い情報提供窓口を確保します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	ホームページでの情報提供の充実				
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
ホームページについては即時に情報を提供できるツールとして、各担当部署が積極的に活用し、各種制度の説明や申請書の様式を始め、各相談窓口の案内やイベントの開催周知など、多くの福祉に関する情報を発信しています。		申請書がダウンロードできることで窓口手続きの簡素化につながったり、検索機能で知りたい情報をすぐに調べられたりするなど、ホームページの充実に貢献することにより、市民の利便性の向上につながっています。
自己評価	今後の方針	
B	今後の庁内総合相談支援体制や、機能集約センターの方針と併せて、関係各課に調査を実施し、福祉情報に関して市民がより分かりやすく受け取ることができるように工夫していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策②	福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 市民への情報提供手段の再検討(取組事例①)				
	概要				
	講演会や健診等の市の事業において、多様な情報を参加者等に提供することで、情報提供機会を拡大するとともに、市民の日常生活の中で自然に福祉関係情報等を取得できるように情報提供手段及びその機会の確保に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究				
指標目標 ※年度初めに設定	民間事業者との 共同事業の実施	調査研究 情報提供の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
美容室が、日常生活の中で、困りごとの相談窓口として、また、自然に福祉関係情報等を取得できる場としてなり得るか検証するため、日本総合研究所と共同で、特別養護老人ホーム安誠園(社会福祉法人)の場所をお借りして実証研究を行いました。(対象者:ご自身もしくは同行者と施術場所に来られる要介護2までの方、もしくは75歳以上の市内在住者30名)		施術者が、ヘアカット、メイク、ネイルなどを行いながらコミュニケーションを図る中で、自然と距離が近まり、会話も弾んでいました。福祉情報を提供する場として成立すると検証できました。
自己評価	今後の方針	
A	昨年度内に事業を終了し、結果をまとめ検証を行い、市内美容室にも情報を提供して今後の方向性を決めていく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で年度内に事業を終了させることができませんでした。次年度も引き続き事業を実施し、今後の方向性を確定していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(1)	相談支援の仕組みづくり				
重点施策②	福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 市民への情報提供手段の再検討(取組事例②)				
	概要				
	講演会や健診等の市の事業において、多様な情報を参加者等に提供することで、情報提供機会を拡大するとともに、市民の日常生活の中で自然に福祉関係情報等を取得できるように情報提供手段及びその機会の確保に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究				
指標目標 ※年度初めに設定	民間事業者との 共同事業の実施	調査研究 情報提供の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
民生委員の研修旅行の移動時間及び医師会立検診センターで実施するがん検診や特定健診の待ち時間を活用して、地域包括支援システムや介護予防、生活支援、在宅医療等のDVDを放映し周知を図る試験的取り組みを行いました。民生委員からは好評でした。		多様な場や方法で情報提供が可能であると検証できました。
自己評価	今後の方針	
A	今後も関係課や関係機関と連携し、様々な場において情報提供を行っていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

生活自立支援課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策①	生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 生活困窮者自立支援事業の充実				
	概要				
	生活困窮者の経済的自立と共に、その人が暮らす地域との社会関係を維持・強化することで自立生活を維持していくことを目的とした支援を展開します。また、地域に潜在化している生活困窮者を早期支援につなげていくために、関係機関・団体と連携した事業周知を推進し、アウトリーチによる支援対象者の掘り起しを図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	生活困窮者自立支援事業の充実				
指標目標 ※年度初めに設定	国が設定する支援プラン作成目安値(72件)の達成	国が設定する支援プラン作成目安値(84件)の達成			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
相談窓口の相談員について、社会福祉協議会へ委託を実施し、専門性の活用及び長期継続型支援の実現を図りました。また、民生・児童委員や関係機関・団体への事業周知及び連携を実施しました。福祉部局内での経常的な連携強化を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の指標を上回る令和元年度事業実績(新規相談319件、支援プラン101件)</li> <li>相談及び継続支援スキームの安定化(事業に関するクレーム等が皆無)</li> <li>関係部署連携による的確な自立促進</li> </ul>
自己評価	今後の方針
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を世帯単位で捉え関係機関連携により課題分析を行うことで、複合的な課題に同時並行的に対応する世帯包括型の支援を推進していきます。</li> <li>8050問題及び引きこもり等に対するアウトリーチを強化し、早期把握・早期支援を推進します。</li> </ul>

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

生活自立支援課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策①	生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 学習支援体制の強化(取組事例①)				
	概要				
	貧困の連鎖を予防し、子どもの将来の自立を促すため、民間の社会資源を活用するとともに、学校等教育機関との連携を強化し、教育と福祉の協力体制を強化します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	学習支援体制の強化				
指標目標 ※年度初めに設定	関係機関との連絡調整の実施	関係機関との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問を延べ299回実施しました。</li> <li>学習教室の他、職業理解セミナーや、就労体験、クリスマスコンサートなどのイベントを開催しました。</li> <li>教室参加者と保護者にアンケートを行い、教室の課題などの見直しを行いました。</li> <li>本庄南中学校と連携して不登校生徒の支援を行いました。</li> </ul>	<p>家庭訪問やアンケートを行った結果、親の孤立や、子どもの問題の相談相手がないことが判明し、子どもだけではなく親の支援も行う必要があることが分かりました。</p> <p>進路実績としては、中学生6人中、4人が全日制、1人が特別支援学校、1人が就職。高校生2人中、1人が進学、1人が就職。</p> <p>学習教室への参加が子どもたちの自信につながり、学習意欲が向上しました。</p>
自己評価	今後の方針
A	今後とも、学校等関係機関等との連携を強化し、子供の将来の自立を促すため、教育と福祉の協力体制を強化していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

学校教育課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策①	生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 学習支援体制の強化(取組事例②)				
	概要				
	貧困の連鎖を予防し、子どもの将来の自立を促すため、民間の社会資源を活用するとともに、学校等教育機関との連携を強化し、教育と福祉の協力体制を強化します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	学習支援体制の強化				
指標目標 ※年度初めに設定	関係機関との連絡調整の実施	関係機関との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
7月下旬から2月上旬にかけて、市内公立4中学校において、家庭での学習習慣が十分に身に付いていない生徒や、意欲はあるが学習に不安を感じたり、学習の仕方がわからなかったりする生徒に対して、地域人材(元教員や大学生などの地域住民等)を活用しての放課後又は休業日における学習支援活動を実施しました。各校とも、年間30回程度開催することができました。	市内公立4中学校すべてにおいて、生徒の登録対象を1年生から3年生までの全学年に広げ、登録生徒数及び登録率を上げることができました。 ・令和元年度…登録生徒数 321名 登録生徒の割合 17.4% (平成30年度…登録生徒数 107名) (登録生徒の割合 16.9%)

自己評価	今後の方針
A	今後も、より多くの生徒の参加が得られるよう、各市内公立中学校とも相談しながら、開催方法、開催日等の工夫を図って参ります。 また、地域の指導者からの協力がさらに得られるよう、学校運営協議会等とも連携しながら、取組の充実を図って参ります。タブレット等を活用し、ペーパーレスでドリル的な学習に取り組む工夫も図って参ります。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課、生活自立支援課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策①	生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 相談支援専門職の確保(再掲)				
	概要				
	複合ニーズ世帯への効果的な支援及び社会資源を有効にコーディネートしていくために、相談支援の専門性を持つ社会福祉士等の確保を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	相談支援専門職の確保の検討			—
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	採用の検討			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
生活困窮者自立支援事業における総合相談において、社会福祉協議会へ相談業務を委託し、専属の相談員(2名)が配置されたことにより、福祉相談の専門性の向上や、長期継続的な支援が見込めるようになりました。		社会福祉協議会との連携を強化するとともに、相談業務に特化した職員を配置したことにより、複雑な問題について迅速な対応が可能となりました。
自己評価	今後の方針	
A	相談業務を更に充実されるために、庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、社会福祉士等の確保について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策①	生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 市職員・専門多職種の資質向上方策の検討(再掲)				
	概要				
	包括的な相談支援体制を効果的に展開するために、実務を担っていく市職員の資質や相談援助技術の向上はもちろんの事、相談支援専門職等の支援に携わる人々が、共通認識を持って業務を遂行できるような研修プログラムを構築します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	研修プログラム等の実施			
指標目標 ※年度初めに設定	研修プログラムの開発	研修プログラムの開発 研修の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度についてはプログラムの開発まで進めることができませんでしたが、埼玉県主催による「令和元年度地域福祉実践能力養成研修会」に参加して実習を受けた、草加市のSOSゲームを参考にし、福祉の相談に関する社会資源や相談に関する知識を市の職員が学ぶ機会を作りたいと考えています。		
自己評価	今後の方針	
C	令和2年度中に研修プログラム(本庄版SOSゲーム(仮))を開発し、総合相談支援体制に関係する部署の職員を集めて研修会を開催します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

健康推進課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策①	生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 自殺対策の推進				
	概要				
	平成30年度に策定された本庄市自殺対策計画に基づき、自殺対策を推進します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	自殺対策の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	自殺対策を推進 するためのネット ワーク会議の 開催	自殺対策を推進 するためのネット ワーク会議の 開催			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
自殺対策を推進するために、関係団体の代表者、関係行政機関の職員、公募市民からなるネットワーク会議を開催し、統計からみる本市の現状や取組事例について情報共有を図り、意見交換を行いました。		ネットワーク会議を開催することで、自殺対策を推進していくことができると考えています。
自己評価	今後の方針	
A	ネットワーク会議を継続実施していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策②	権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 成年後見制度利用促進のための拠点の設置と支援				
	概要				
	成年後見制度を推進するための中核的拠点を設置し、制度の適切な利用を促進するための計画の策定を図ります。計画策定を通じ、制度を取り巻く社会資源とのネットワークの形成や、低所得等により制度を利用することが難しい人への支援の充実を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	中核的拠点の設置	中核的拠点の設置 ネットワークの形成	ネットワークの形成		
指標目標 ※年度初めに設定	拠点の設置に向けた調査研究の実施	拠点の設置に向けた調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
中核的拠点の設置に向け国、県主催の研修会等に参加しました。また、現在相談事業や市民後見人養成講座を委託している社会福祉協議会と今後の方向性について協議を重ねました。		研修に参加することにより、講義やグループワークを通じて権利擁護の必要性について学ぶことができました。社会福祉協議会と連携を強め、将来的な拠点の整備について検討することができました。
自己評価	今後の方針	
A	中核拠点について引き続き社会福祉協議会と設置に向けた協議を進めていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策②	権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 権利擁護相談の充実				
	概要				
	「本庄市後見ほっとライン」や、市が社協に委託している成年後見相談事業の周知を進めるとともに、権利擁護を伴う相談に適切に対応するための体制整備を推進します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	権利擁護相談事業の充実				
指標目標 ※年度初めに設定	成年後見相談事業 受付件数15件 後見ほっとライン の受付件数80件	成年後見相談事業 受付件数10件 後見ほっとライン の受付件数90件			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
「本庄市後見ほっとライン」について、広報に掲載（年度中2回）、成年後見相談事業については毎月日時を広報でお知らせしました。また、成年後見制度の講演会等の際に、それらの相談窓口について周知を図りました。		成年後見相談事業受付件数：5件 後見ほっとラインの受付件数：38件
自己評価	今後の方針	
B	後見ほっとライン及び成年後見相談事業の利用について引き続き周知を図るとともに、相談に適切に対応していくための体制整備を検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策②	権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 市民後見人等権利擁護人材の養成と支援				
	概要				
	市民後見人養成講座の実施等、権利擁護人材を引き続き養成していくとともに、講座修了者等が権利擁護に関わる事業に参画し、資質向上していくための継続的な支援を実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	権利擁護人材の活動場所の検討		権利擁護人材の活動場所の提供		
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究及び 講座の実施	調査研究及び 講座の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
権利擁護人材を養成していくための市民後見人養成講座や講座修了者の資質向上のためのフォローアップ講座を本庄市社会福祉協議会に委託して実施しました。	市民後見人養成講座：参加者3名 (うち市民後見人候補者名簿登録者：2名、年度末時点11名登録) フォローアップ講座：参加者19名 (参加者対象者：市民後見人養成講座(基礎)修了者及び成年後見相談員37名)
自己評価	今後の方針
A	地域に権利擁護人材を増やすための講座等を実施し、活動場所の検討を社会福祉協議会と協力して進めていきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策②	権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 権利擁護事業に関する周知啓発(取組事例①)				
	概要				
	虐待や成年後見制度について、市民をはじめ、関係する福祉関係事業所、民間事業者等の権利擁護が必要な人を取り巻く人を対象とする講演会・研修会を実施するとともに、パンフレット等を作成し、周知啓発を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	パンフレット等の作成 講演会・研修会等の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	講演会等の実施	講演会等の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
成年後見制度を適切に利用していただくために、ケアマネ向け講演会(5月)、成年後見事業者向け講演会(11月)、市職員向け研修会(1月)、市民、民生委員・児童委員向け講演会(2月)、を開催し、講演会等の中で後見ほっとライン、成年後見相談事業を周知しました。アンケート結果から、成年後見制度の理解が深まったという意見を多数いただきました。	<参加者数> ケアマネ向け講演会：49名 関連事業者向け講演会：58名 市職員向け研修会：62名 市民、民生委員・児童委員向け講演会：129名
自己評価	今後の方針
A	成年後見制度へ理解を深めていただくため、今後とも幅広い対象者に向けて講演会等を実施していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策②	権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 権利擁護事業に関する周知啓発(取組事例②)				
	概要				
	虐待や成年後見制度について、市民をはじめ、関係する福祉関係事業所、民間事業者等の権利擁護が必要な人を取り巻く人を対象とする講演会・研修会を実施するとともに、パンフレット等を作成し、周知啓発を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	パンフレット等の作成 講演会・研修会等の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	講演会等の実施	講演会等の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
地域福祉課と地域包括支援センター共催で福祉関係事務所に対する研修会を開催しました。また、民生委員の定例会において地域包括支援センター職員から権利擁護に関する講話を行いました。		関係機関や民生委員が制度や対応方法について学ぶ機会となりました。また、相談窓口の周知が進みました。
自己評価	今後の方針	
A	高齢者の相談窓口である地域包括支援センターや民生委員、関係機関の協力を得ながら周知していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

市民活動推進課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策②	権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 権利擁護事業に関する周知啓発(取組事例③)				
	概要				
	虐待や成年後見制度について、市民をはじめ、関係する福祉関係事業所、民間事業者等の権利擁護が必要な人を取り巻く人を対象とする講演会・研修会を実施するとともに、パンフレット等を作成し、周知啓発を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	パンフレット等の作成 講演会・研修会等の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	講演会等の実施	講演会等の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
公民館等地区・利用者団体に対する人権教育研修会を12会場で実施しました。また、著名人を招き、人権教育に関する講演会を開催しました。		公民館等地区・利用者団体人権教育研修会においては500名の参加がありました。また、元陸上選手の為末大氏を招いた講演会は400名の参加がありました。
自己評価	今後の方針	
A	今後も高齢者や障害がある方等、すべての人々の人権が尊重された社会を目指し、市民の人権意識を高め、人権尊重の精神が正しく身に付くよう、様々な場を通じて人権教育研修会等を開催し、人権啓発活動を実施していきます。	

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策③	更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 更生保護団体への支援				
	概要				
	市内での保護観察活動を円滑に実施できる環境づくりのために、埼玉県下の更生保護事業を統括する「さいたま保護観察所」との連携の下、本庄地区及び児玉地区保護司会への事務支援を行うとともに、他の更生保護団体との連携を強化します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	更生保護団体への支援				
指標目標 ※年度初めに設定	保護司会の会議 や研修会への参 加	保護司会の会議 や研修会への参 加			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>本庄地区保護司会については、地域福祉課が事務局として運営の事務支援を行っています。(児玉地区保護司会の事務局は美里町。)年数回開催される役員会や、情報交換会、定例研修会等に参加して、保護司会の活動に参加し、運営が円滑に行われるよう努めました。</p>		<p>保護司会と活動を共にし、更生保護に関して協力関係を築くことができます。</p>
自己評価	今後の方針	
A	引き続き、保護司会へ補助金等による支援を行うとともに、更生保護活動に協力していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策③	更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 更生保護サポートセンターの運営支援				
	概要				
	市内の更生保護活動の拠点とするため、本庄地区及び児玉地区保護司会がそれぞれ運営する、更生保護サポートセンターの運営を支援します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	更生保護サポートセンターの運営支援				
指標目標 ※年度初めに設定	支援の実施	支援の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>本庄地区更生保護サポートセンターは、事務局として、センターの管理や庶務業務などの運営支援をしています。児玉地区更生保護サポートセンターは、児玉総合支所第二庁舎の会議室に開設しており、活動の場所を提供しています。</p>		<p>サポートセンターの運営を支援し、更生保護に関して協力関係を築くことができている。</p>
自己評価	今後の方針	
A	引き続き、更生保護サポートセンターの運営支援を行うとともに、更生保護活動に協力していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策③	更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 社会を明るくする運動への支援				
	概要				
	罪を犯した人の立ち直りを支える地域社会を構築するため、社会を明るくする運動本庄市推進委員会への事務支援を強化し、地域住民を対象とした啓発活動を強化します。また、同運動を通じ、更生保護団体と自治会連合会、民生委員・児童委員協議会をはじめ、PTA連合会、学校等地域の関係機関・団体と共に、民間事業者等との協働体制を充実させていきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	社会を明るくする運動への支援				
指標目標 ※年度初めに設定	新たなキャンペーン方法等の実現	周知、啓発活動の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
毎年7月を強調月間として、各関係機関・団体と共に社会を明るくする運動の周知・啓発活動を実施しています。啓発物品を配布する場所が例年の課題となっていましたので、今年度は、本庄夏まつり会場において試験的に実施しました。当日、短時間で多くの方に受け取ってもらうことができ、効率的にキャンペーンを実施することができましたので、来年度には本格的な実施したいと考えています。	新たなキャンペーン方法を試すことができ、来年度の本格的な実施につなぐことができました。
自己評価	今後の方針
A	引き続き、各関係機関・団体と協力関係を築くと共に、社会を明るくする運動への理解を深めていただくための周知・啓発活動を充実させていきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課、生活自立支援課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策③	更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 刑余者への就労支援の充実				
	概要				
	保護観察対象者を適切に就労につないでいくために、保護司会等と連携を強化し、支援を要する刑余者を円滑に生活困窮者自立支援事業等につないでいきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	刑余者への就労支援の充実				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	保護司会との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
本庄地区保護司会の全体会議が開催された際に、生活自立支援課職員が生活困窮者自立支援事業の説明を行い、保護司のみなさんへ制度の案内をすると共に、協力や連携のお願いをしました。		生活自立支援課の相談窓口で、生活困窮や就労支援の事業を行っていることを周知し、保護司と必要に応じて連携を図ることができています。
自己評価	今後の方針	
B	刑余者が社会復帰する際の地域での実情を保護司会に確認し、連携強化を図るための具体的な方法について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策④	災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)の策定と周知啓発				
	概要				
	現行の災害時要援護者避難支援プラン(全体計画)を避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)(以下「全体計画」という。)に改正し、避難行動要支援者の避難支援体制を整備するとともに、全体計画の周知啓発を行うことで、避難行動要支援者名簿登録者数の拡大を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	全体計画の改正	計画の周知啓発及び避難行動要支援者要支援者名簿登録者数の拡大			
指標目標 ※年度初めに設定	計画の調査研究 の実施	計画の調査研究 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
全体計画の改正に向けた取組方法を検討しましたが、全体計画改正には至りませんでした。避難行動要支援者支援制度として周知啓発を図り、対象者へ名簿登載への同意確認を実施しました。		制度対象者へ名簿登載の同意確認を実施したほか、制度の周知啓発のため、制度案内のパンフレットを作成しました。
自己評価	今後の方針	
B	全体計画の改正を進めるとともに、避難行動要支援者名簿登録者の拡大を図り、制度の充実を推進します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策④	災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 関係機関・団体との情報共有体制の強化				
	概要				
	災害等緊急時における避難支援の迅速性を確保するとともに、災害に伴う支援の有効性・効率性を向上させるために、避難行動要支援者名簿の共有先の拡大を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	全体計画の改正	避難行動要支援者名簿の共有先の拡大			
指標目標 ※年度初めに設定	計画の調査研究 の実施	計画の調査研究 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>全体計画の改正に向けた取組方法を検討しましたが、全体計画改正には至りませんでした。避難行動要支援者支援制度として周知啓発を図り、支援機関の拡大を検討します。</p>		
自己評価	今後の方針	
C	<p>個人情報共有することになるため、共有方法や提供先とのやり取りを慎重に進めます。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

危機管理課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策④	災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 防災活動への避難行動要支援者の参加の促進				
	概要				
	避難訓練等の防災活動の実施にあたり、避難行動要支援者が積極的に参加できる体制を整え、災害時に迅速かつ効率的な避難支援等を行う地域づくりを図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	全体計画の改正	防災活動への避難行動要支援者の参加の促進			
指標目標 ※年度初めに設定	計画の調査研究 の実施	訓練の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
土砂災害警戒区域等の指定がある地域の自治会を対象に土砂災害・全国防災訓練に併せて避難訓練を行ったほか、総合防災訓練において会場周辺の自治会の方の参加を促しました。	自治会役員や地域の民生・児童委員の協力をいただき、避難行動要支援者の方の避難を想定した避難訓練を行いました。また、福祉避難所の開設も行い、より実践的な訓練となるよう工夫しました。
自己評価	今後の方針
A	継続的に、地域住民が参加できる訓練を実施していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

危機管理課、市民活動推進課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策④	災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 災害時の相談支援体制の確立				
	概要				
	社協の災害ボランティアセンター及び関係機関・団体と連携し、災害時に専門的な相談支援を行うための体制づくりを検討していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	災害時の相談支援体制の確立				
指標目標 ※年度初めに設定	関係団体等との 連絡調整の実施	関係団体等との 連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
社会福祉協議会と災害時の市の担当となる部署との連携の確認を行いました。また、埼玉司法書士会及び埼玉県行政書士会と災害時の協定を締結しました。		災害ボランティアセンターを設置する体制の確認ができました。また、災害時の市民からの相談支援体制が強化できました。
自己評価	今後の方針	
A	引き続き関係団体等や各部署との連携を深めていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

危機管理課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(2)	横断的なサービスづくり				
重点施策④	災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. ハザードマップ等の活用支援				
	概要				
	避難行動要支援者等との交流等、平常時からの支えあいの意識を醸成するとともに、支援関係者同士で情報共有を進めていくため、ハザードマップ等の地域情報を地域で共有・活用することを支援します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	ハザードマップ等の活用支援				
指標目標 ※年度初めに設定	関係課との連絡調整の実施	関係課との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市が行っている防災に関する出前講座等について、関係課と連携してハザードマップ等を活用した講座を開催しました。		避難行動要支援者の支援関係者への情報共有に寄与しました。
自己評価	今後の方針	
A	今後も関係課と連携しながら出前講座を実施していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

各施設所管課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策①	ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 公共施設のバリアフリー化				
	概要				
	手すり・スロープ・エレベーター・専用トイレの設置、専用駐車場の確保等公共施設のバリアフリー化を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	公共施設のバリアフリー化				
指標目標 ※年度初めに設定	バリアフリー化 の状況調査の実 施	バリアフリー化 の意向調査等の 実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
障害福祉課において各施設所管課を対象にバリアフリー調査を実施しました。各公共施設の改修計画等に応じて必要なバリアフリー化を進めています。		各計画等にバリアフリー化を重視していくことが定められており、改修時に合わせてバリアフリー化を進めています。
自己評価	今後の方針	
A	引き続き改修計画等に応じて必要なバリアフリー化を実施していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課、道路管理課、道路整備課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策①	ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 居住環境の整備				
	概要				
	狭あい道路の解消、歩道の整備及びバリアフリー化、案内表示板へのユニバーサルデザインの使用の推進等を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	居住環境の整備				
指標目標 ※年度初めに設定	関係課との連絡 調整の実施	関係課との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
地域福祉課及び道路管理課、道路整備課において協議を行い、ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくりを進めていくにあたり、関係各課と調整の上、課題の整理を行い、市の方針を検討していくことになりました。		福祉の政策的な観点と、道路等の工事を担う現場の双方の意見を反映していくことで、より効果的な方針を策定することができます。
自己評価	今後の方針	
A	バリアフリー化等に関する市の方針について関係課と庁内検討会議を開催し、現状や課題について整理するなど、具体的な内容について協議していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

企画課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策①	ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 福祉施策の継続及び啓発事業（取組事例①）				
	概要				
	自動車免許返納者等の交通弱者の移動手段の確保、路線バスのノンステップ化、駅の多機能トイレの設置推進、点字・声の広報等を発行・配布します。市民及び事業者に対し、啓発のための広報及び研修会の開催し、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの周知に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉施策の継続及び啓発事業				
指標目標 ※年度初めに設定	関係課との連絡調整の実施	関係課との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
路線バスのノンステップ化（バリアフリー化の推進）を進めました。		3台ノンステップバスを増車しました。
自己評価	今後の方針	
A	継続して推進していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

危機管理課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策①	ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 福祉施策の継続及び啓発事業(取組事例②)				
	概要				
	自動車免許返納者等の交通弱者の移動手段の確保、路線バスのノンステップ化、駅の多機能トイレの設置推進、点字・声の広報等を発行・配布します。市民及び事業者に対し、啓発のための広報及び研修会を開催し、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの周知に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉施策の継続及び啓発事業				
指標目標 ※年度初めに設定	関係課との連絡調整の実施	関係課との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
ホームページ等で高齢者への自動車免許自主返納を啓発し、併せて運転経歴証明書の取得や、シルバー・サポーター制度などの免許返納後の特典制度について紹介を行いました。		高齢者の交通安全に関する制度の周知に寄与しました。
自己評価	今後の方針	
A	今後も交通安全意識の啓発と各施策の紹介等を行い、高齢者等の交通弱者が関わる交通事故の防止に貢献していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

障害福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策②	移動の支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 各種福祉施策の継続				
	概要				
	各個別福祉計画に基づき在宅重度心身障害者福祉タクシー利用料金助成、身体障害者自動車運転免許取得費補助、身体障害者自動車改造費補助等を引き続き実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	各種福祉施策の継続				
指標目標 ※年度初めに設定	自動車改造費 助成 4件 自動車運転免許 取得費助成 2件	自動車改造費 助成 4件 自動車運転免許 取得費助成 2件			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
障害者手帳取得時に、該当する方へ自動車改造費助成及び運転免許取得費助成があることをお知らせし、周知に努めました。		自動車改造費助成 2件 自動車運転免許取得費助成 1件
自己評価	今後の方針	
B	令和2年度が事業の見直し年度にあたるため、補助事業が継続できるよう補助金適正化委員会に諮り、事業の継続に努めます。また、必要な方が利用できるよう、周知に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

企画課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策②	移動の支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 公共交通の充実強化				
	概要				
	公共交通は自家用車に代わる移動手段として交通弱者への対応や環境負荷の軽減等の観点から各交通機関との連携強化を図ります。また、人の交流促進を促すため市域を越えた公共交通網のさらなる利便性・快適性の向上を図り、市内を快適に移動できる交通網の充実を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	公共交通の充実強化				
指標目標 ※年度初めに設定	市内公共交通利用者数(路線バス・デマンドバス・シャトルバス) 84万人	市内公共交通利用者数(路線バス・デマンドバス・シャトルバス) 85万人			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
交通弱者の移動手段の確保や交通不便地域の解消など、誰もが移動しやすい公共交通を目指し、市内公共交通(路線バス、デマンド交通等)の補助金を交付したほか、利便性向上を図るため本市交通政策協議会等で協議を行いました。		市内公共交通利用者数(路線バス・デマンドバス・シャトルバス) 842,806人
自己評価	今後の方針	
A	今後も、誰もが安心して移動できる公共交通を目指し、バス路線を延伸するなど市内公共交通の利便性向上を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策②	移動の支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 移動支援に協力的なボランティアの活用				
	概要				
	アンケート結果に、病院や施設の同行支援や買い物の手伝い等を協力したいとの意見が出されました。地域住民や事業者とともにボランティアの活用を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	移動支援に協力的なボランティアの活用				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
社会福祉法人によるスーパーへの移動支援やコンビニエンスストアによる移動販売の試行及び実践する中で、地域の助け合い活動について話し合う「協議体」のメンバーにボランティアとして協力していただきました。また、支援を受けた人、ボランティアとして関わった人両方にアンケートを行いました。		どの部分に支援が必要かなど、取組の視点を明確にすることができました。
自己評価	今後の方針	
A	活動の継続及び拡大するために、必要性に合わせてボランティアを活用していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策②	移動の支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 移動困難者（買い物弱者や医療・介護関連）に対するアウトリーチの施策検討				
	概要				
	外出支援を必要とする人のニーズが多様化し、既存のサービスのみでは対応が困難なケースもあります。今後は様々なノウハウを持つ民間業者等との連携も推進します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	移動困難者（買い物弱者や医療・介護関連）に対するアウトリーチの施策検討				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
社会福祉法人によるスーパーへの移動支援やコンビニエンスストアによる移動販売の試行及び普及へ向けた活動報告会や勉強会を生活支援体制整備事業の中で実施しました。	試行と活動報告等を組み合わせた実践は他の地域への周知や取り組みに繋げることができました。
	今後の方針
A	活動について理解が得られる地域を少しずつ増やしていきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策③	住まいの確保				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 住宅セーフティネット法による「居住支援協議会」の設置				
	概要				
	法の主な内容としては、民間の空き家・空き室を活用して、高齢者、低所得者、子育て世帯等の「住宅確保要配慮者」の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度の創設、「居住支援協議会」の設置、居住支援法人の指定等が制度化されました。「居住支援協議会」は住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に円滑に入居できるように推進する組織であるため、設置検討を推進していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	住宅セーフティネット法による「居住支援協議会」の設置				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度は具体的な取組に至りませんでした。協議会の必要性について関係課と調査研究を進めていきます。		
自己評価	今後の方針	
C	他市の状況を調査すると共に、本市における導入の必要性について関係課と協議を行います。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策③	住まいの確保				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 高齢者・障害のある人等の住居の確保(取組事例①)				
	概要				
	サービス付高齢者住宅・有料老人ホーム(特定の地域に偏らないよう適切に配置します) ケアハウス(一人暮らし高齢者の増加を踏まえ、維持継続します) グループホーム(共同生活の場として、維持継続します)				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	高齢者・障害のある人等の住居の確保				
指標目標 ※年度初めに設定	事業の維持継続	事業の維持継続			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
サービス付高齢者住宅・有料老人ホームについて、県北地域に偏りがちであるため、市内の新設が大幅増とならないよう注視しました。		新規設置要望は1件であり、施設の開設が市内で偏っている傾向はありません。
自己評価	今後の方針	
A	高齢者の住居の確保のため、利用を維持継続していくと共に、引き続き、サービス付高齢者住宅・有料老人ホームの新規設置について地域に偏りのないよう注視していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策③	住まいの確保				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 高齢者・障害のある人等の住居の確保(取組事例②)				
	概要				
	サービス付高齢者住宅・有料老人ホーム(特定の地域に偏らないよう適切に配置します) ケアハウス(一人暮らし高齢者の増加を踏まえ、維持継続します) グループホーム(共同生活の場として、維持継続します)				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	高齢者・障害のある人等の住居の確保				
指標目標 ※年度初めに設定	事業の維持継続	事業の維持継続			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
地域密着型特定施設入居者生活介護(ケアハウス)の入居情報を市のホームページで毎月更新し、施設の情報を提供しました。		令和2年4月1日現在 入居者数28名(定員29名) 入居予定者1名
自己評価	今後の方針	
A	事業の維持継続を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

営繕住宅課

基本戦略1	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目(3)	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策③	住まいの確保				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 市営住宅の整備				
	概要				
	高齢者や障害のある人、子育て世帯の人々等が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう市営住宅の整備を進めるとともに家賃を低廉に抑え、効率的で効果的な管理、運営に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	市営住宅の整備				
指標目標 ※年度初めに設定	田中市営住宅を 年度計画により 改修する	田中市営住宅を 年度計画により 改修する			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
田中市営住宅の居住性向上と福祉対応を図るため、トイレの水洗化工事、浴室ユニットバス新規設置工事を実施しました。		新規設置工事により、浴槽・便器について高齢者向けの福祉対応を実現しました。
自己評価	今後の方針	
A	令和元年度に改定した本庄市営住宅長寿命化計画の年次改善計画に基づき、令和4年度まで引き続き実施します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(1)	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 社会福祉協議会の運営と活動への支援				
	概要				
	社協の運営費や、市の計画に合致する事業活動を優先的に補助することで、小地域における住民主体活動のコーディネート機能を強化するとともに、社協の活動を支援します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	社会福祉協議会への運営費補助及び活動支援				
指標目標 ※年度初めに設定	支援の実施	支援の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市民との協働を推進するまちづくりを推進するため、社会福祉協議会に常勤職員の人件費を補助し、運営の適正化の確保と福祉事業の推進を図っています。		社会福祉協議会と連携を図りながら事業を行うことにより、市内の地域福祉の推進を効率的・効果的に実施しています。
自己評価	今後の方針	
A	引き続き、社会福祉協議会の運営の適正化の確保と福祉事業の取り組みに協力していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(1)	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 小地域における住民主体の福祉活動の組織化の支援				
	概要				
	社協を通じて、小学校区等の小地域ごとに住民主体の福祉活動を行うための組織づくりを支援するための体制を整備します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	モデル地区の募集・選定		モデル地区への支援	
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでした。が、庁内相談・政策管理機能部署及び機能集約センターの設置と併せて、小地域における住民主体の福祉活動の組織化の支援の仕組みについて社会福祉協議会と検討していきます。		
自己評価	今後の方針	
C	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、ワーキンググループにおいて地域福祉ネットワーク会議(仮)の設置・運用にあたっての協議・調整を行い、その中で地域とのネットワークの形成についても議論していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(1)	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 地域福祉懇談会等の定期的実施				
	概要				
	市民の地域福祉への関心を高めるとともに、地域情報を共有していくために、「地域福祉懇談会」及び「次世代地域づくり会議」を継続的に実施していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域福祉懇談会等の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	懇談会の開催	懇談会の開催			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和2年2月7日に本庄市社会福祉協議会と共催で「ふくしフェスタ」を開催し、市内小中学校の福祉実践校（本庄南小、中央小、共和小、児玉中、本庄高校、本庄東高校）の教諭や生徒の方に、それぞれ学校で取り組まれた内容を発表していただきました。地域福祉懇談会については、2月22日及び24日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とさせていただきますことになりました。	ふくしフェスタ参加者 発表者17名、参加者44名、福祉教育ボランティア3名 学校同士が取り組みの詳細について共有すると共に、地域に学校の取り組みを知ってもらう機会となりました。
自己評価	今後の方針
B	来年度についても、「地域福祉懇談会」及び「次世代地域づくり会議」の開催を予定します。多くの市民の方に参加していただけるよう、内容の充実や周知方法の工夫に努めます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(1)	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 地域福祉講演会等の実施				
	概要				
	地域福祉に関する市民の理解を促進し、支え合いの地域社会を構築していくため、市民や関係機関・団体構成員を対象とする、地域福祉に関する講演会を毎年実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	講演会の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	講演会の開催	講演会の開催			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和元年11月17日に、本庄市社会福祉協議会と共催で日本地域福祉研究所理事長の大橋謙策先生をお招きして、「誰もが住みやすい地域共生社会づくりを目指して」と題し、地域福祉の必要性について市民向けに分かりやすくご講話いただきました。	約130名の方々に出席いただきました。講演会後にアンケートを提出していただいた95名の方のうち、85名の方が地域福祉について理解できたと回答されていました。
自己評価	今後の方針
A	来年度についても、地域福祉講演会を開催し、多くの市民の方々に、地域福祉の考え方や、地域福祉に関する取り組みへの参加に対する理解を深めていただく機会を作ります。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(1)	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討(取組事例①)				
	概要				
	認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等、市が実施する講座受講者が講座内容を地域において実践していくための仕組みを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
<p>権利擁護人材を養成していくための市民後見人養成講座を開催し、受講者3名中、2名の方に市民後見人候補者名簿に登録いただきました。</p> <p>成年後見事業者向け講演会(11月)の終了後、一般社団法人後見の杜代表宮内氏主導の下、市内NPO団体(市民後見センターほんじょう、後見センターこだま、ま・るーく)に参加していただきお互いの活動状況について情報交換を行いました。</p>	<p>実践活動の場を広げていくために、地域のNPO団体の活動状況を伺う機会や情報交換の場を設けることで、地域の現状に関する情報を収集することができました。</p>

自己評価	今後の方針
A	<p>地域で活躍する団体等の現状や意見を伺うと共に、実践活動支援の検討について引き続き取り組んでいきます。</p>

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(1)	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討(取組事例②)				
	概要				
	認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等、市が実施する講座受講者が講座内容を地域において実践していくための仕組みを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
養成講座受講後、活動協力が可能なサポーターの登録を行いました。はにトレ(筋トレ)及び生活支援サポーターは地域の活動に繋がっています。認知症サポーターは実践へ向けた仕組みづくりに向けて、登録者や関係機関と意見交換を重ね準備を進めました。		これまでは市で登録情報を保有してきましたが、効率的な実践へと繋げるためには市と地域包括支援センターで共有し、高齢者支援を行う地域包括支援センターによるコーディネートが可能にすることが望ましいという方針に至りました。
自己評価	今後の方針	
A	情報の共有化を図るため、登録用紙(情報)の見直しを行い共有化を進めていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(2)	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 地域福祉ネットワーク会議(仮)の設置				
	概要				
	①個別課題・地域課題の検証を通じたネットワークの形成 機能集約センターが対応した日常生活圏域内の個人や世帯が抱える生活課題を検証することで、地域ニーズの把握・共有を行うとともに、地域のそれぞれの社会資源同士のネットワークを強化・補完していく機能を検討します。 ②サービス・資源開発 日常生活圏域内での個別課題・地域課題に対応した生活支援サービスの開発や人材発掘・育成を検討し、機能集約センターに提案していく機能を有します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画(予定)	調査研究 設置準備			モデル設置	機能検証
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでした。が、庁内相談・政策管理機能部署及び機能集約センターの設置と併せて地域福祉ネットワークの仕組みについて検討していきます。		
自己評価	今後の方針	
C	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、ワーキンググループにおいて地域福祉ネットワーク会議(仮)の設置・運用にあたっての協議・調整を行います。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(2)	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 新たな機能の設置に係るプロジェクトチーム等での検討				
	概要				
	新たな機能の設置にあたってのプロジェクトチーム、及び組織内調整を行うための準備室において、地域福祉ネットワーク会議(仮)の設置・運用にあたっての協議・調整を行っていきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	PTの設置	新たな機能の設置準備室の設置		新たな機能の設置	
指標目標 ※年度初めに設定	ワーキンググループの設置	ワーキンググループでの調査研究			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
庁内関係各課で構成する本庄市地域福祉検討会議を立ち上げ、機能集約センターに関して、関係各課の担当で構成する庁内ワーキンググループを設置する規程を整備しました。		地域に必要な身近な相談機関について、今後具体的に協議するための基盤を整えることができました。
自己評価	今後の方針	
B	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、ワーキンググループにおいて地域福祉ネットワーク会議(仮)の設置・運用にあたっての協議・調整を行います。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(2)	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 個人情報の取扱いに関する指針の作成				
	概要				
	連携を具体的に行っていくためには、個人情報の共有が必要不可欠ですが、サービス提供事業者をはじめ、民生委員・児童委員、自治会等支援関係者が支援を行うにあたり、適切に個人情報を活用していくための手順及びルールを作成を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	ルールの作成		ルールの運用・検証	
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施 ルールの作成			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
各団体と個人情報の共有を行うためには、地域の中でどのような取り組みを連携して行うのが良いか話合うことが必要であると考え、民生委員・児童委員と自治会との話し合いの場を設けました。		地域の方のためにお互いが情報を共有することが必要であるという共通認識を改めて確認することができました。
自己評価	今後の方針	
A	災害が起こった時の、民生委員・児童委員と自治会との連携方法について、避難行動要支援者名簿の活用方法も踏まえ整理をしながら、日常の中での情報共有や連携方法についてルールを作成していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(2)	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 連携のための相談支援マニュアルの作成(再掲)				
	概要				
	個人の資質ではなく、仕組みとして効率的に連携していくためには、連携手法を基準化する必要があることから、相談支援及び連携に関する統一的な基準としての「相談支援・連携マニュアル(仮)」を作成します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	マニュアル等の作成		マニュアル等の運用・検証	
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査の実施	関係課への調査の実施 マニュアル等の作成			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでした。現在各分野ごとに対応している福祉の相談に関して、複雑で複合的な事例の対応マニュアル等を整備していきたいと考えています。		
自己評価	今後の方針	
C	庁内の総合相談支援体制の具体的な方針が確定した後、将来的な組織の体制に沿ったマニュアルの整備を進めていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略2	人と人とのつながりづくり				
施策細目(2)	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 多職種連携事例集の作成検討				
	概要				
	市内の多様な支援関係者が多職種連携の必要性とその手法を学ぶための機会を充実させるため、解決事例を「事例集」として周知することで、市民の自覚を促し、かつ、事例集を作成することで支援関係者の事例対応力の向上を図ります。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究			事例集の作成	
指標目標 ※年度初めに設定	関係課への調査 の実施	関係課への調査 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでしたが、市内の多職種連携を充実させるために、事例集の作成整備を進めていきたいと考えています。		
自己評価	今後の方針	
C	各課で蓄積している情報を調査研究し、関係各課と共同で事例集の作成について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課、学校教育課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(1)	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. モデルプログラム集等の作成				
	概要				
	教育課程において、効果的かつ効率的に福祉教育・福祉学習を行うことができるよう、ガイドライン及びモデルプログラム集を作成します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	モデルプログラム集の作成		モデルプログラムの実施・検証		
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施 モデルプログラム集の作成			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
<p>学校教育課と地域福祉課、本庄市社会福祉協議会との協議の場を設定し、モデルプログラム集の作成に向けて、意見交換や課題等の洗い出しなどを行いました。協議や意見交換を通して、モデルプログラム集の作成に向けて、どのような具体的取組や取組方法が考えられるかなど意思疎通を図ることができました。</p> <p>また、地域福祉について、次世代に早い段階から興味を持っていたために、小中学校向けに啓発パンフレットを作成しました。</p>	<p>小中学校向けに地域福祉啓発パンフレットを作成し、今後地域福祉の周知に取り組むためのツールを整えることができました。</p>

自己評価	今後の方針
A	<p>地域福祉課及び学校教育課、本庄市社会福祉協議会との連携を図りながら、各学校においてどのような具体的取組が可能なのか、また、教育活動の中で有効に活用することができるモデルプログラム集とは、具体的にどのような内容なのかを検討し、しっかりと方向性を出しながら、取組を進めて参ります。</p>

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(1)	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 地域福祉懇談会等の定期的実施(再掲)				
	概要				
	市民の地域福祉への関心を喚起するとともに、地域情報を共有していくために、「地域福祉懇談会」及び「次世代地域づくり会議」を継続的に実施していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域福祉懇談会等の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	懇談会の実施	懇談会の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和2年2月7日に本庄市社会福祉協議会と共催で「ふくしフェスタ」を開催し、市内小中学校の福祉実践校(本庄南小、中央小、共和小、児玉中、本庄高校、本庄東高校)の教諭や生徒の方に、それぞれ学校で取組まれた内容を発表していただきました。地域福祉懇談会については、2月22日及び24日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とさせていただきますことになりました。	ふくしフェスタ参加者 発表者17名、参加者44名、福祉教育ボランティア3名 学校同士が取り組みの詳細について共有すると共に、地域に学校の取り組みを知ってもらう機会となりました。

自己評価	今後の方針
B	来年度についても、「地域福祉懇談会」及び「ふくしフェスタ」の開催を予定します。多くの市民の方に参加していただけるよう、内容の充実や周知方法の工夫に努めます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(1)	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 地域福祉講演会等の実施(再掲)				
	概要				
	地域福祉に関する市民の理解を促進し、支え合いの地域社会を構築していくため、市民や関係機関・団体構成員を対象とする、地域福祉に関する講演会を毎年実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	講演会の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	講演会の実施	講演会の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和元年11月17日に、本庄市社会福祉協議会と共催で日本地域福祉研究所理事長の大橋謙策先生をお招きして、「誰もが住みやすい地域共生社会づくりを目指して」と題し、地域福祉の必要性について分かりやすくご講話いただきました。	約130名の方々に出席いただきました。講演会後にアンケートを提出していただいた95名の方のうち、85名の方が地域福祉について理解できたと回答されていました。
自己評価	今後の方針
A	来年度についても、地域福祉講演会を開催し、多くの市民の方々に、地域福祉の考え方や、地域福祉に関する取り組みへの参加に対する理解を深めていただく機会を作ります。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(1)	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 福祉関係講座の充実(取組事例①)				
	概要				
	社会福祉に関係する生涯学習講座の実施を検討します。また、認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等、市が実施する福祉関係講座等を生涯学習の中で体系的に実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画(予定)	調査研究		福祉関係講座の充実検討		
指標目標 ※年度初めに設定	講座の実施 関係課との連絡 調整の実施	講座の実施 関係課との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
幼児向け認知症サポーター養成講座の開催、小学生向け認知証サポーター養成講座のモデル開催(日常生活圏域に1校)、中学生向け認知症サポーター養成講座の開催、市職員(中堅)向け認知症サポーター養成講座の開催、市民向け認知症サポーター養成講座等の開催をしました。	関係者・関係機関の協力により体系化が進み、受講者数が増加しました。 (受講者数:平成27年度763人、28年度568人、29年度559人、30年度1,000人、令和元年度1,647人)
自己評価	今後の方針
A	令和2年度から市の新採用職員向け認知症サポーター養成講座を開催します。 地域の実情に合わせて小学生向け養成講座を市全域で開催し、幼児期から高齢者までを対象とした講座の体系化を進めていきます。 民生委員向け養成講座については、任期に1度受講機会を設けます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

生涯学習課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(1)	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 福祉関係講座の充実(取組事例②)				
	概要				
	社会福祉に関係する生涯学習講座の実施を検討します。また、認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等、市が実施する福祉関係講座等を生涯学習の中で体系的に実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究		福祉関係講座の充実検討		
指標目標 ※年度初めに設定	講座の実施 関係課との連絡 調整の実施	講座の実施 関係課との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市民総合大学や各公民館講座にて、福祉・介護等に関連する講座等を開催しました。 (講座内容等：相続の教室、転倒予防教室、大人のしゃべり場、筋力アップ及び健康体操、ボッチャ体験教室)		福祉・介護等に関連する講座に多くの方が参加され、予防法を学んだり、実際に障害者の方と一緒に運動したりと相互理解にもつながりました。
自己評価	今後の方針	
A	各公民館長の中には、前職が特別支援学校だった方もいるので、その方などの意見を参考に、より参加しやすい講座の企画に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(1)	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 生涯学習機会の拡大の検討				
	概要				
	生涯学習・社会教育の機会を市民に等しく提供するため、生涯学習講座や認知症サポーター養成講座等の実施にあたり、情報通信技術（ICT）を活用した手法を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究		生涯学習機会の拡大検討		
指標目標 ※年度初めに設定	関係課との連絡調整の実施	関係課との連絡調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでしたが、生涯学習機会の拡大を図るため、情報通信技術（ICT）を活用した手法を検討していきます。		
自己評価	今後の方針	
C	各課で実施している福祉関連の講座等を調査研究し、情報通信技術（ICT）の活用が図れるか関係各課と検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

生涯学習課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(2)	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 生涯学習講座受講者等の受け皿の確保				
	概要				
	生涯学習の成果を適切に地域社会に還元するため、学習者と地域ニーズのマッチング機能をつくりだすことを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	生涯学習講座受講者等の受け皿の確保				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
講座を受講した方が継続して学べるようにするために、各公民館に登録しているクラブ団体や、本庄市文化団体連合会などに加入して他の人たちと一緒に活動できるように、情報提供や発表する場を設けました。		毎年、少数ではありますが、クラブ団体等に加入して活動を続けられています。また、クラブ団体等に参加することで人と人とのつながりも築いています。
自己評価	今後の方針	
A	講座等の修了した方をすぐに地域ニーズにつなげていくことには、まだ検討が必要であると考えます。現在のような個人の学習を継続できるようなクラブ団体等の紹介や周知を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

生涯学習課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(2)	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 人材バンクの周知啓発				
	概要				
	優れた知識又は技能を持ち、社会参加に意欲のある人材を指導者として登録している、本庄市生涯学習人財バンク（以下「人財バンク」という。）の周知啓発を行い、地域での生涯学習講座等における人財バンクの活用を図ります。また、各種講座等を修了し、知識や技能を習得した人材が小地域における指導者として活動できるよう、人財バンクへの登録につなげます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	人材バンクの周知啓発				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
登録者名簿の確認や更新作業を進めました。		改めて人材バンクの見直しを図りました。
自己評価	今後の方針	
B	市民総合大学、公民館講座で依頼している講師の方等も名簿に登録してもらおうか調整し、周知方法について検討します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(2)	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 地域福祉懇談会等の定期的実施(再掲)				
	概要				
	市民の地域福祉への関心を喚起するとともに、地域情報を共有していくために、「地域福祉懇談会」及び「次世代地域づくり会議」を継続的に実施していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域福祉懇談会等の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	懇談会の実施	懇談会の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和2年2月7日に本庄市社会福祉協議会と共催で「ふくしフェスタ」を開催し、市内小中学校の福祉実践校(本庄南小、中央小、共和小、児玉中、本庄高校、本庄東高校)の教諭や生徒の方に、それぞれ学校で取り組まれた内容を発表していただきました。地域福祉懇談会については、2月22日及び24日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とさせていただきますことになりました。	ふくしフェスタ参加者 発表者17名、参加者44名、福祉教育ボランティア3名 学校同士が取り組みの詳細について共有すると共に、地域に学校の取り組みを知ってもらう機会となりました。
自己評価	今後の方針
B	来年度についても、「地域福祉懇談会」及び「ふくしフェスタ」の開催を予定します。多くの市民の方に参加していただけるよう、内容の充実や周知方法の工夫に努めます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(2)	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討(取組事例①)(再掲)				
	概要				
	認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等、市が実施する講座受講者が講座内容を地域において実践していくための仕組みを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
<p>権利擁護人材を養成していくための市民後見人養成講座を開催し、受講者3名中、2名の方に市民後見人候補者名簿に登録いただきました。</p> <p>成年後見事業者向け講演会(11月)の終了後、一般社団法人後見の杜代表宮内氏主導の下、市内NPO団体(市民後見センターほんじょう、後見センターこだま、ま・るーく)に参加していただいでお互いの活動状況について情報交換を行いました。</p>	<p>実践活動の場を広げていくために、地域のNPO団体の活動状況を伺う機会や情報交換の場を設けることで、地域の現状に関する情報を収集することができました。</p>

自己評価	今後の方針
A	地域で活躍する団体等の現状や意見を伺うと共に、実践活動支援の検討について引き続き取り組んでいきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(2)	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討(取組事例②)(再掲)				
	概要				
	認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等、市が実施する講座受講者が講座内容を地域において実践していくための仕組みを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施	関係する団体・ 機関等との連絡 調整の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>養成講座受講後、活動協力が可能なサポーターの登録を行いました。はにトレ(筋トレ)及び生活支援サポーターは地域の活動に繋がっています。認知症サポーターは実践へ向けた仕組みづくりに向けて、登録者や関係機関と意見交換を重ね準備を進めました。</p>		<p>これまでは市で登録情報を保有してきましたが、効率的な実践へと繋げるためには市と地域包括支援センターで共有し、高齢者支援を行う地域包括支援センターによるコーディネートが可能にすることが望ましいという方針に至りました。</p>
自己評価	今後の方針	
A	<p>情報の共有化を図るため、登録用紙(情報)の見直しを行い共有化を進めていきます。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(3)	専門職・支援関係者の育成と支援				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 民生委員・児童委員協議会への支援				
	概要				
	民生委員・児童委員協議会への事務支援を引き続き実施するとともに、地域住民に身近な相談役である民生委員・児童委員個人のと連携して、地域の見守り体制づくりに努めます。また、地域で活動する支援関係者を支援し、必要な機関等につなぎながら、地域の福祉人材の活動をサポートします。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	民生委員・児童委員協議会への支援				
指標目標 ※年度初めに設定	会議への参加 研修会の実施	会議への参加 研修会の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
民生委員・児童委員協議会事務局として事務支援を行い、地区ごとの定例会に参加して活動の状況を把握しました。また、民生委員・児童委員として地域で活動するための知識や意識を高めていただく機会として、活動強化方策や市の制度を紹介するための研修会や成年後見制度の講演会を実施しました。	研修を通じ、地域の状況を民生委員同士で共有したり、福祉の制度に関する知識を深めたりしていただくことで、今後の活動でのお互いの連携や、地域で相談を受ける際に必要なスキルとして役立てることが出来ます。
自己評価	今後の方針
A	民生委員・児童委員は昨年改選を行ったこともあり、本庄市社会福祉協議会や本庄市各地域包括支援センター等とどのような時に連携したらよいかはまだ分からない方もいます。自宅への訪問の仕方や、聞き取りの方法など、本庄市地域包括支援センターに講師を行ってもらおう等、地域との連携を深めていただく研修等を引き続き実施していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(3)	専門職・支援関係者の育成と支援				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 多職種連携のための研修会等の実施				
	概要				
	専門職及び支援関係者が一堂に会し、連携のための関係性を構築するとともに、コミュニティソーシャルワーク等の多職種連携に関する技能の向上を図るための研修会等の実施を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	多職種連携のための研修会等の実施			
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	研修会等の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
各日常生活圏域において地域包括支援センターを中心に地域ケア会議やネットワーク会議を開催し、本庄市介護支援専門員連絡会への活動支援を行いました。また、障害福祉や子育て分野の支援者で合同研修会として意見交換を行いました。郡市で共同で進める在宅医療・介護連携推進事業において、専門職を対象とした研修会等を開催しました。在宅医療連携拠点が中心となって開催する多職種連携を考える会の後方支援を郡内の市町で行いました。	各会議において研修及び意見交換等を行いながら顔の見える関係づくりができ、個別支援の際の連携体制へと繋がっています。

自己評価	今後の方針
A	住民、関係機関、市職員等全ての人(分野)が地域包括ケアシステムの担い手であることの意識づくりと連携を進めるため、関係課や関係団体と連携して研修会等を継続実施します。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(3)	専門職・支援関係者の育成と支援				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 行政情報の活用支援				
	概要				
	市が保有している情報のうち、個人情報に該当しない専門職の活動地域に関する統計情報等を専門職や支援関係者等が活用し、支援対象者等の地域を適切に評価していくために、市が保有する情報等を積極的に公開し、その活用方法の周知等を行います。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	行政情報の活用支援				
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
今年度については具体的な取組まで進めることができませんでしたが、庁内相談・政策管理機能部署及び機能集約センターの設置と併せて、地域福祉ネットワークの仕組みについて検討していく中で、専門職や支援関係者等が必要とする情報等を整理し、公開していくことについて検討していきます。	
自己評価	今後の方針
C	専門職や支援関係者等が必要とする情報等を把握し、活用方法について検討していきます。 他市の実施状況について研究していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略3	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目(3)	専門職・支援関係者の育成と支援				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 個人情報の取扱いに関するルールの作成(再掲)				
	概要				
	連携を具体的に行っていくためには、個人情報の共有が必要不可欠です。市内で、サービス提供事業者をはじめ、民生委員・児童委員、自治会等支援関係者が支援を行うにあたり、適切に個人情報を活用していくための手順及びルールの作成を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	ルールの作成		ルールの運用・検証	
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
各団体と個人情報の共有を行うためには、地域の中でどのような取り組みを連携して行うのが良いか話合うことが必要であると考え、民生委員・児童委員と自治会との話し合いの場を設けました。		地域の方のためにお互いが情報を共有することが必要であるという共通認識を改めて確認することができました。
自己評価	今後の方針	
A	災害が起こった時の、民生委員・児童委員と自治会との連携方法について、避難行動要支援者名簿の活用方法も踏まえ整理をしながら、日常の中での情報共有や連携方法についてルールを作成していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(1)	市の計画推進体制の強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 本庄市地域福祉審議会（仮称）の設置				
	概要				
	計画を推進し、地域福祉を発展させていくために、市、社協、市民、関係機関・団体が一堂に会し施策の検討を行うほか、計画の進捗状況を共有するとともに、定期的に必要な点検評価と改善点の協議を行う等、「PDCAサイクル」に基づく進行管理を組織的に行い、必要に応じて計画の変更等を行っていきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	検討 設置	—	—	—	—
指標目標 ※年度初めに設定	審議会の設置	—	—	—	—

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
本庄市地域福祉審議会における所掌事務に計画の進行管理を加えるため、令和元年度12月議会に一部改正の議案を提出し、承認を受けました。また、令和2年度から審議会を開催するため、関係団体へ審議会委員の推薦依頼を行い、広報等を通じて一般公募を実施しました。		計画の進行管理について、市民や関係団体等からの意見を反映させるための審議会を立ち上げました。
自己評価	今後の方針	
A	審議会において、計画の進捗状況を共有すると共に、地域福祉の推進に向けて必要な協議を行っていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(1)	市の計画推進体制の強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 計画進行管理組織による点検評価の実施				
	概要				
	地域福祉審議会（仮称）を毎年度複数回開催し、計画の定期的な点検評価を実施します。なお、2019年度は評価方法を検討し、次年度より、前年度評価を行っていきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	検討・設置 評価方法の検討	前年度評価	前年度評価 中間評価	前年度評価	前年度評価 最終評価
指標目標 ※年度初めに設定	管理組織の設置	前年度評価			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>計画の進行管理を行う組織として、庁内関係各課で構成する本庄市地域福祉検討会議を立ち上げました。検討会議において、審議会を含めた今後のスケジュールや進捗管理シートの内容等について協議を行いました。</p>		<p>検討会議のメンバーを招集した会議を年度中に2回開催し、進行管理の方法や地域福祉の推進について協議を行うことができました。</p>
自己評価	今後の方針	
A	<p>引き続き、検討会議において進行管理に関する協議を行い、内容について審議会へ審議を依頼していきます。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>



# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(1)	市の計画推進体制の強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 計画の周知啓発				
	概要				
	計画概要版を全戸配布するとともに、計画の進行管理状況をHPや広報等で周知するなど、機会を捉えて計画の周知啓発を行います。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	概要版の全戸配布	前年度評価の周知	前年度・中間評価の周知	前年度評価の周知	前年度・最終評価の周知
指標目標 ※年度初めに設定	全戸配布の実施	前年度評価の周知			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
ふくしの杜ほんじょうプラン21の概要版を作成し、11月15日号の広報ほんじょうお知らせ版に折りこみ、全戸配布しました。	全戸配布により、多くの市民の皆様へ計画の周知を図ることができました。

自己評価	今後の方針
A	引き続き、概要版等を用いながら計画の周知啓発を行うと共に進捗状況についてもHP等に公開していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(1)	市の計画推進体制の強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 地域福祉講演会等の実施(再掲)				
	概要				
	地域福祉に関する市民の理解を促進し、支え合いの地域社会を構築していくため、市民や関係機関・団体構成員を対象とする、地域福祉に関する講演会を毎年実施します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	講演会の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	講演会の実施	講演会の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和元年11月17日に、本庄市社会福祉協議会と共催で日本地域福祉研究所理事長の大橋謙策先生をお招きして、「誰もが住みやすい地域共生社会づくりを目指して」と題し、地域福祉の必要性について分かりやすくご講話いただきました。	約130名の方々に出席いただきました。講演会後にアンケートを提出していただいた95名の方のうち、85名の方が地域福祉について理解できたと回答されていました。
自己評価	今後の方針
A	来年度についても、地域福祉講演会を開催し、多くの市民の方々に、地域福祉の考え方や、地域福祉に関する取り組みへの参加に対する理解を深めていただく機会を作ります。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(1)	市の計画推進体制の強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	5. 地域福祉懇談会等の定期的実施(再掲)				
	概要				
	市民の地域福祉への関心を惹起するとともに、地域情報を共有していくために、「地域福祉懇談会」及び「次世代地域づくり会議」を継続的に実施していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域福祉懇談会等の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	懇談会の実施	懇談会の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和2年2月7日に本庄市社会福祉協議会と共催で「ふくしフェスタ」を開催し、市内小中学校の福祉実践校(本庄南小、中央小、共和小、児玉中、本庄高校、本庄東高校)の教諭や生徒の方に、それぞれ学校で取組まれた内容を発表していただきました。地域福祉懇談会については、2月22日及び24日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とさせていただきますことになりました。	ふくしフェスタ参加者 発表者17名、参加者44名、福祉教育ボランティア3名 学校同士が取り組みの詳細について共有すると共に、地域に学校の取り組みを知ってもらおう機会となりました。
自己評価	今後の方針
B	来年度についても、「地域福祉懇談会」及び「ふくしフェスタ」の開催を予定します。多くの市民の方に参加していただけるよう、内容の充実や周知方法の工夫に努めます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(1)	市の計画推進体制の強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	6. 新たな課題への実態調査の実施				
	概要				
	ヤングケアラー等の新たな地域課題を把握し、必要な施策につなげていくための調査研究を実施します。なお、調査研究の結果明らかとなった課題に対しては、計画の変更等により対応していきます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究課題の 検討	ヤングケアラー の実態調査	調査研究課題の 検討	調査研究の実施	
指標目標 ※年度初めに設定	調査研究の実施	調査研究の実施 アンケートの実 施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>後見ほっとラインに寄せられた相談に関して、一般社団法人後見の杜代表宮内氏同席の下、毎月の定例会において内容を振り返り、相談の対応方法や課題解決に必要な支援とは何かということについて話し合いました。</p>		<p>後見ほっとラインに寄せられた相談内容を振り返り、適切に制度を運用していくために必要な知識について話し合い、講演会やセミナーでの講義内容に反映しました。</p>
自己評価	今後の方針	
A	ヤングケアラーについて学校にアンケート等の協力を依頼し、実態調査を実施します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(3)	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	1. 地域福祉基金の周知と寄附文化の醸成				
	概要				
	市が在宅福祉の推進など、地域における保健福祉活動の振興を図るために設置している「本庄市地域福祉基金」の周知等の寄附文化の醸成を図り、地域福祉財源の充実に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域福祉基金の周知と寄附文化の醸成				
指標目標	周知方法等の検討	周知方法等の検討			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和元年度中に地域福祉基金として地域福祉課で受け付けた寄附は4件、合計533,535円となっています。また、ふるさと本庄応援寄附としていただいた全355件、10,527,080円のうち、健康福祉分野への寄附としていただいたのは、156件、4,259,080円となっています。個人及び企業から寄附をいただいています。広報やホームページにおいて周知を行いました。	寄附について、多くの方にご理解ご協力をいただいています。
自己評価	今後の方針
A	地域福祉基金への関心を高めていただくための周知を行い、寄附文化の醸成について引き続き取り組んでいきます。

A達成 B未達成 C検討中 D要検証

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(3)	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	2. 市の事業における補助金等の活用				
	概要				
	市が地域福祉を推進していくための取組に係る費用として、市の一般財源だけでなく、国や県の補助金・交付金等を積極的に活用するとともに、国内の財団法人等の助成金等の活用を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	補助金・交付金等の活用				
指標目標	補助金・交付金等の活用の検討	補助金・交付金等の活用の検討			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
<p>成年後見制度について、権利擁護人材育成補助金を活用しました。                      (市民後見人養成講座、フォローアップ講座、成年後見相談業務、後見ほっとライン)                      避難行動要支援者避難支援制度推進調査について、(公財)地域社会振興財団の「長寿社会づくりソフト事業費交付金」を活用しました。</p>	<p>国や県の補助金・交付金等を活用し、市の事業の充実が図れています。</p>

自己評価	今後の方針
A	<p>国や県の補助金・交付金等を積極的に活用するため、情報収集に努め、効率的・効果的な施策実現を行っていきます。</p>

A達成 B未達成 C検討中 D要検証

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

地域福祉課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(3)	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	3. 関係機関・団体の財源確保への支援				
	概要				
	地域住民をはじめ、市内の関係機関・団体が地域福祉に関わる諸活動を行うにあたり、その財源確保を支援するための助言等を行います。また、地域福祉活動に利用可能な補助金・交付金・助成金等の周知に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	財源確保の支援				
指標目標	周知方法等の検討	周知方法等の検討			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
民生委員・児童委員協議会、保護司会、老人クラブなど、各地域福祉活動団体から補助金等の申請を受けるにあたり、昨年度の実績報告や今後の活動計画を確認し、必要に応じて助言等を行いました。		各団体の活動状況や財政状況を把握し、情報を共有することで必要な支援を提供することに努めています。
自己評価	今後の方針	
A	すでに補助金の申請を受けている団体等について、引き続き財源確保のため必要な助言等を行います。また、地域福祉活動に利用可能な補助金・交付金・助成金等の効率的な周知方法について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D要検証

## <<備考>>

# ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

実行課

介護保険課

基本戦略4	計画推進体制の発展・強化				
施策細目(3)	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	4. 官民連携の強化				
	概要				
	地域課題の解決や人材開発等市民の福祉の向上に資する取組について、関係機関・団体、社会福祉法人、民間企業等と協働することで効率的な事業展開に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	官民連携の強化				
指標目標	官民連携の強化 の実施	官民連携の強化 の実施			

## <令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
コンビニエンスストア（ローソン）と地域の協力による移動販売の実施、社会福祉法人（明正会、宥和）によるスーパーへの移動支援、ケーブルテレビの協力による動画作成、配信などを行いました。		連携・協働することで地域支援の共通認識を図ることができました。
自己評価	今後の方針	
A	意見交換しながら協力が得られる団体を増やしていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D要検証

## <<備考>>